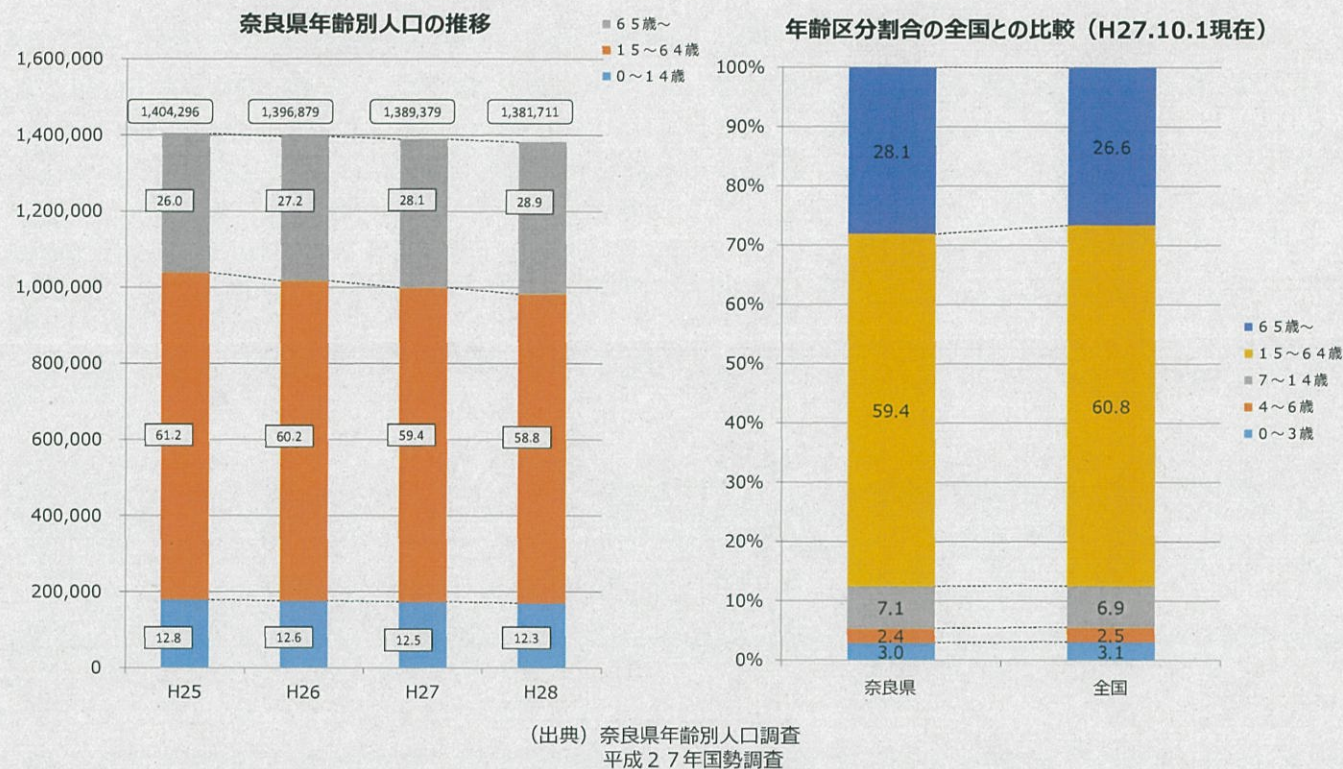
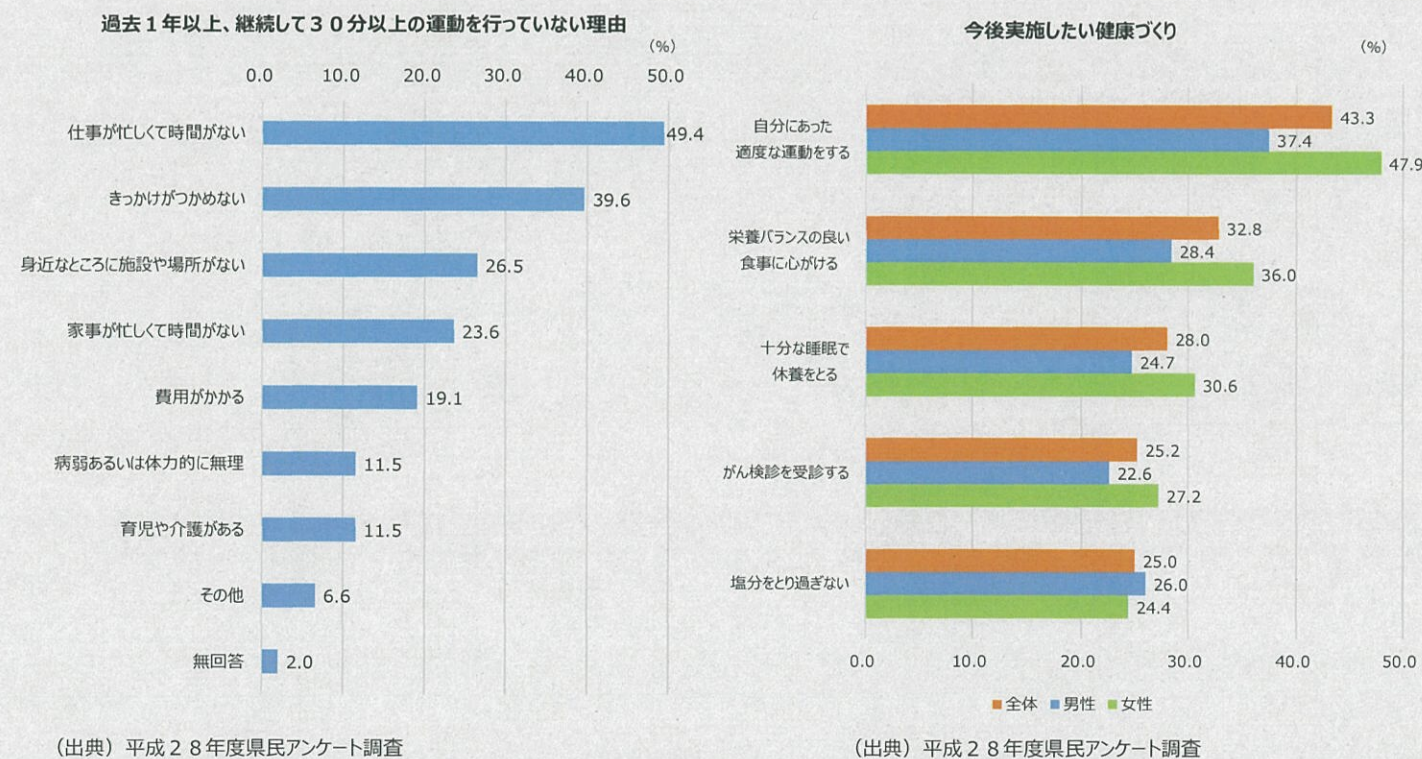


- 奈良県の人口は減少傾向にあり、65歳以上の人口は増加しているが、その他の人口割合は減少している。
- 全国との比較では、65歳以上と7～14歳の区分で、全国より人口比が高くなっている。

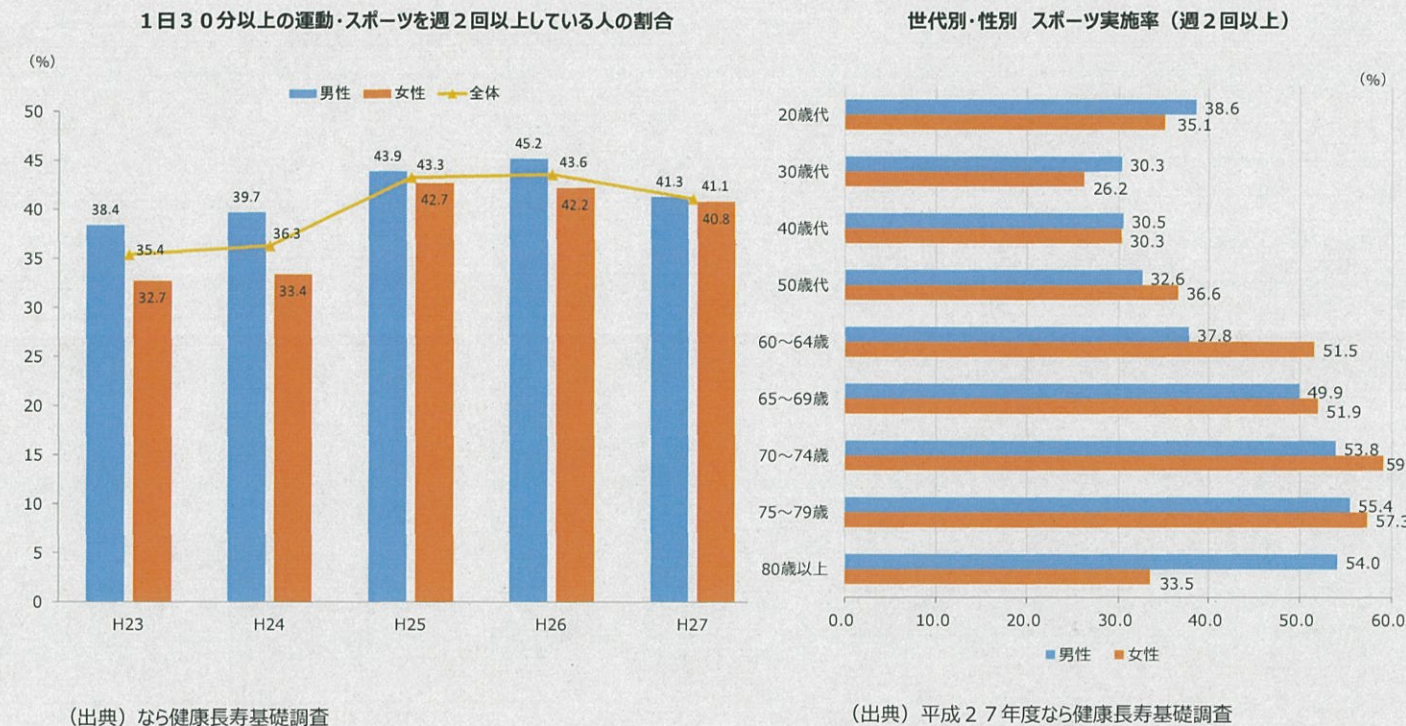


スポーツ実施に係る阻害要因について

- スポーツ実施に係る阻害要因としては、「仕事や家事が忙しく時間がない」という意見の割合が大きく、また、「きっかけがつかめない」、「身近なところに施設や場所がない」という意見も上位を占める。
- 一方で、「健康づくりのためには運動が必要である」と考えている人が多い。(男性：37.4% 女性：47.9%)

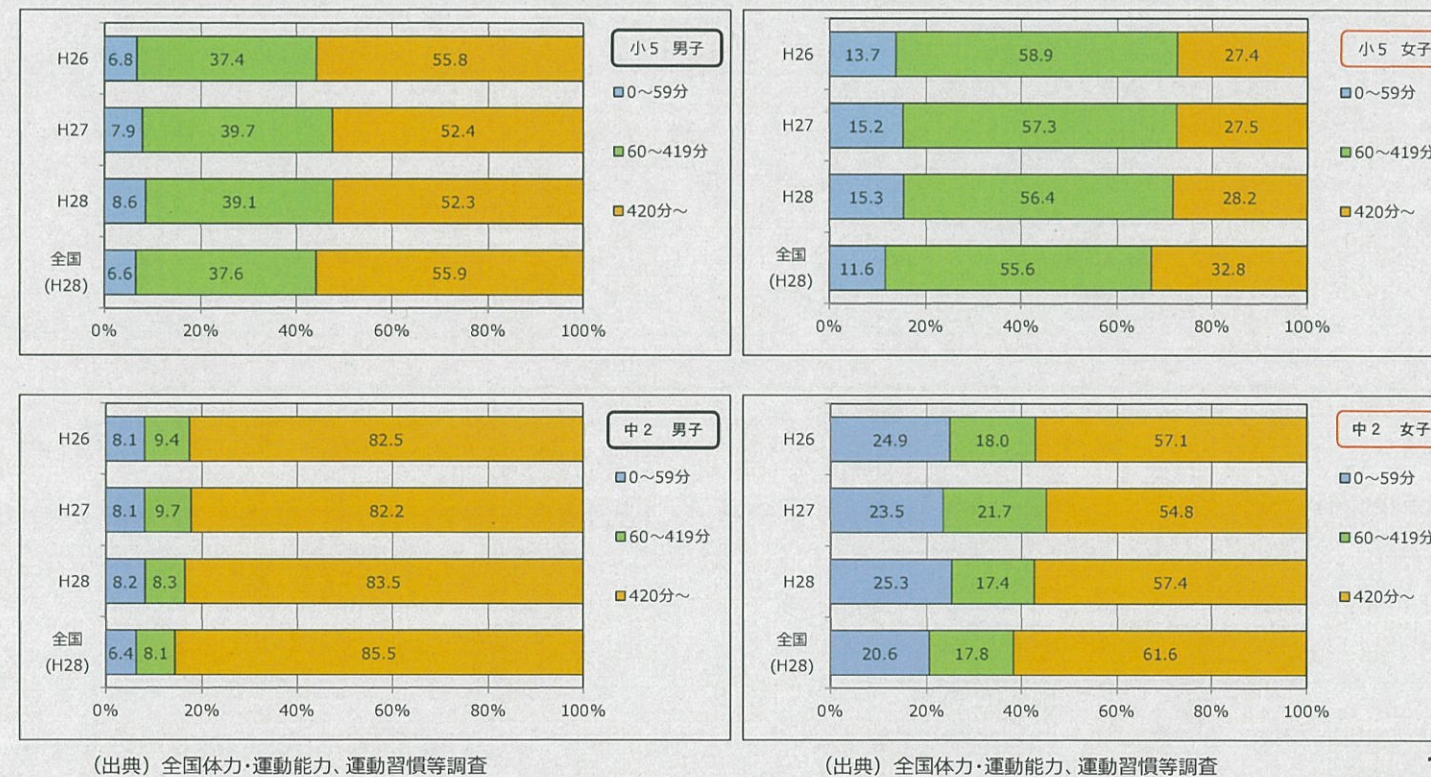


- 運動・スポーツ実施率は、平成25年度以降、4.3%程度で横ばいの状態となっている。
- 国の成人スポーツ実施率（週1回以上）は40.4%（平成27年度）、本県の運動・スポーツ実施率（週2回以上）は41.1%となっている。
- 男性では、働き世代の20代～60代前半の運動・スポーツ実施率が特に低く、女性も20代～50代、特に30代は著しく低い傾向にある。

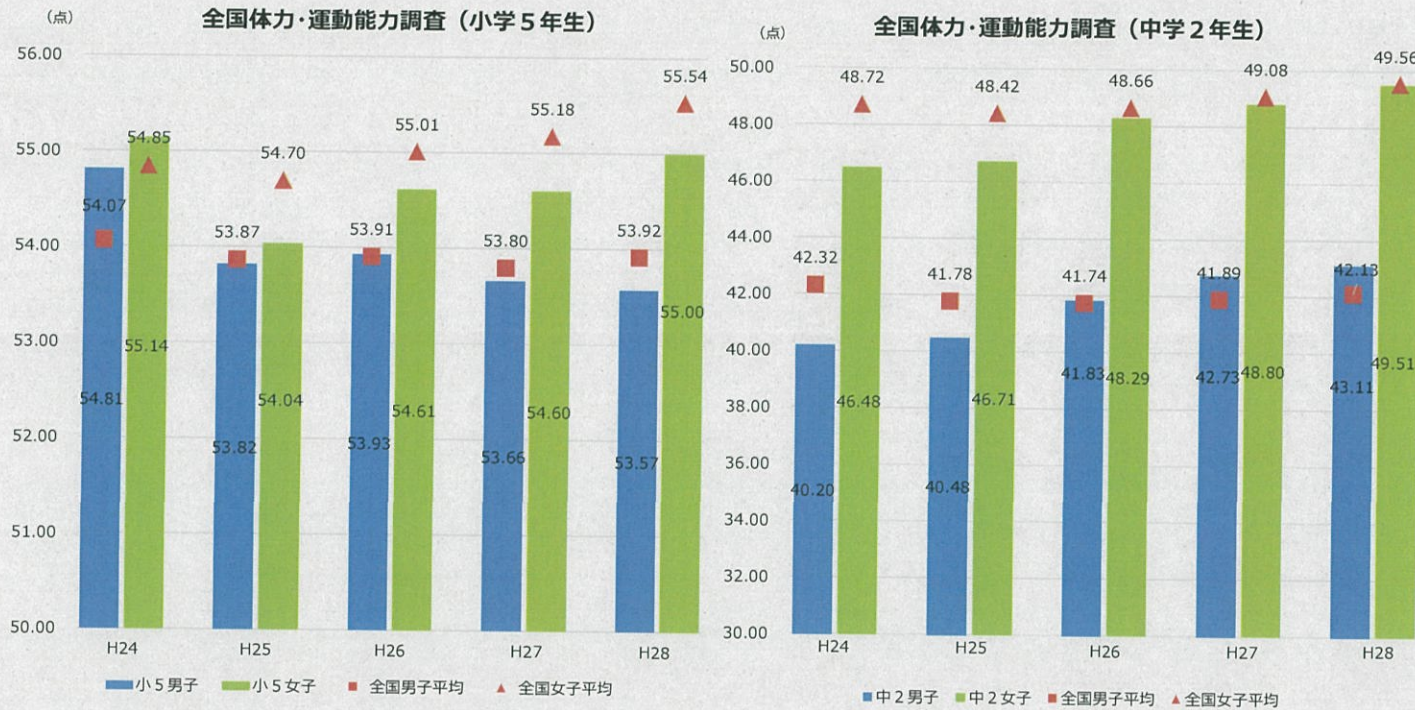


運動する子どもとしない子どもの状況 (1週間の総運動時間について)

- 本県の子供たちは、全国と比較すると、1週間の総運動時間が60分未満である割合が小学校・中学校共に高い。
- 中学生では、運動する子どもとしない子どもの二極化が見られる。
- 1日に1時間以上、運動・スポーツをする児童・生徒は全体的に増加傾向にあるが、全国平均を下回っている。



- 小学5年生については男女とも全国平均を下回る結果となった。男子は前年とほぼ横ばいで、女子は上昇傾向が見られる。(男子：27位 女子：33位)
- 中学2年生については、男女とも全国平均を上回り、特に女子は体力合計点が過去最高となった。(男子：15位 女子：25位)

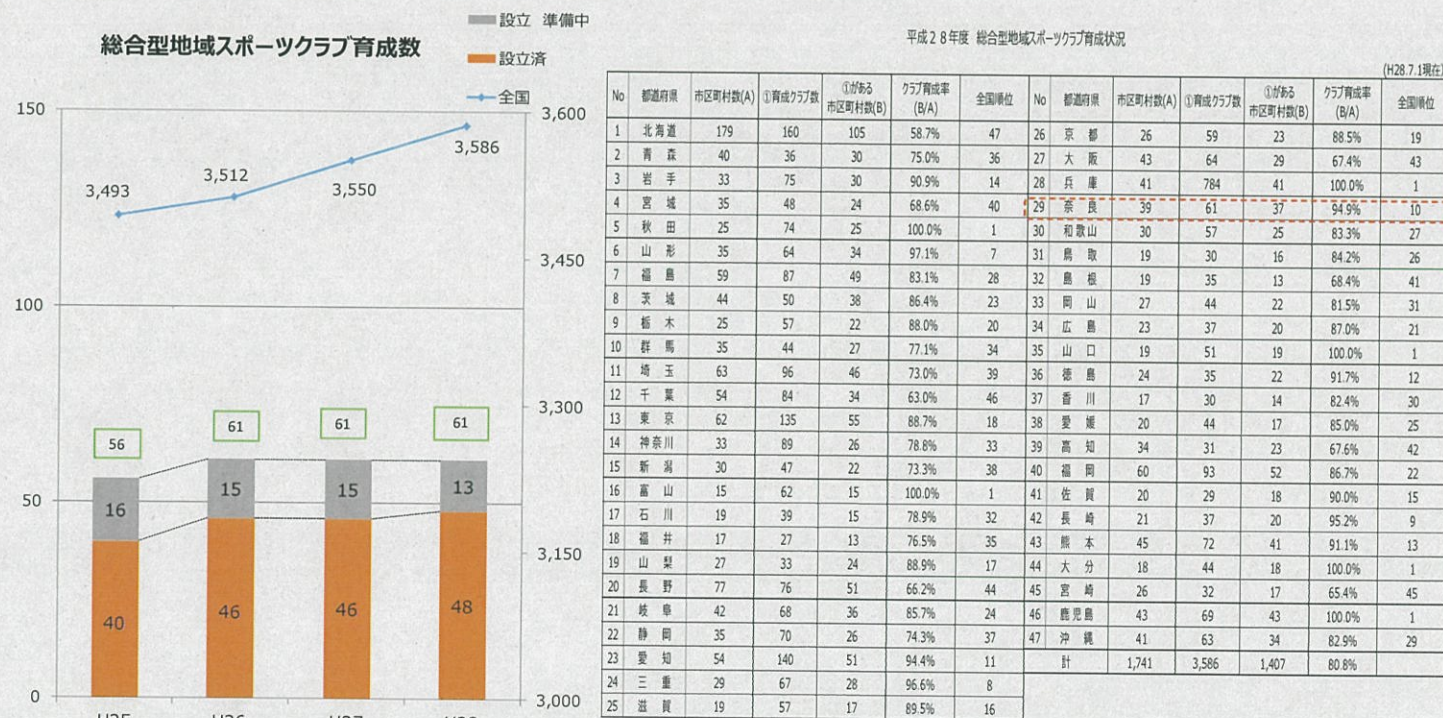


(出典) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

(出典) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

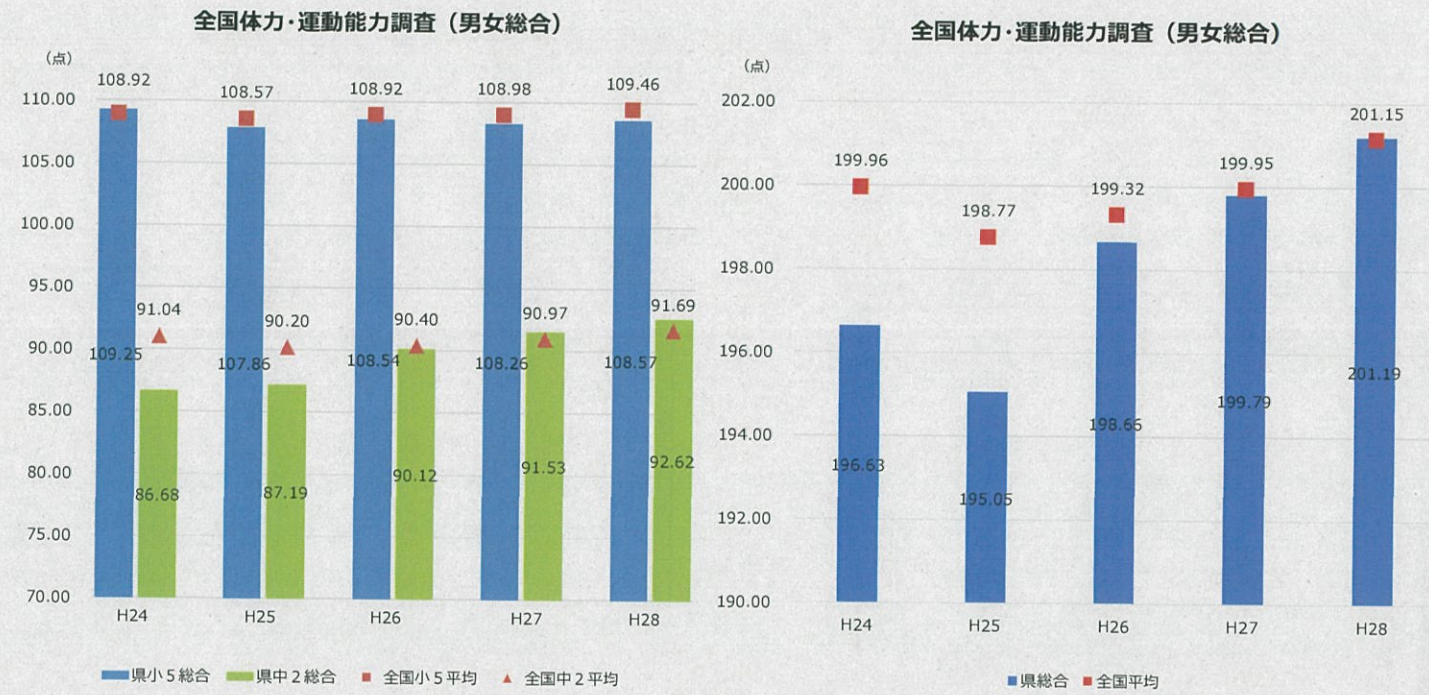
総合型地域スポーツクラブの育成クラブ数

- 総合型地域スポーツクラブ育成数は、全国の傾向と同じく増加しており、特に設立済のスポーツクラブ数が増えている。
- 総合型地域スポーツクラブの育成状況は、全国で10位となっており、39市町村中37市町村でクラブの創設または創設準備が進んでいる。



(出典) 県スポーツ振興課調べ、文部科学省・スポーツ庁「総合型地域スポーツクラブ育成状況調査」

- 平成28年度の体力合計点は、中学2年生で過去最高値となり、2年連続全国平均を上回る結果となった。
- 平成28年度の男女総合結果では、3年連続上昇し、初めて全国平均を上回る結果となった。(総合順位：21位)

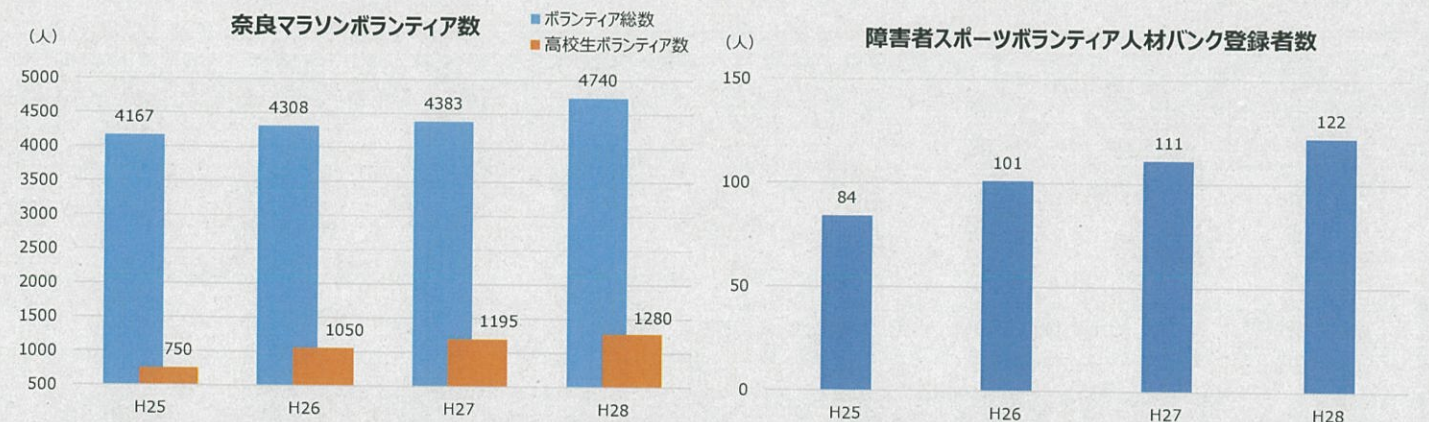


(出典) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

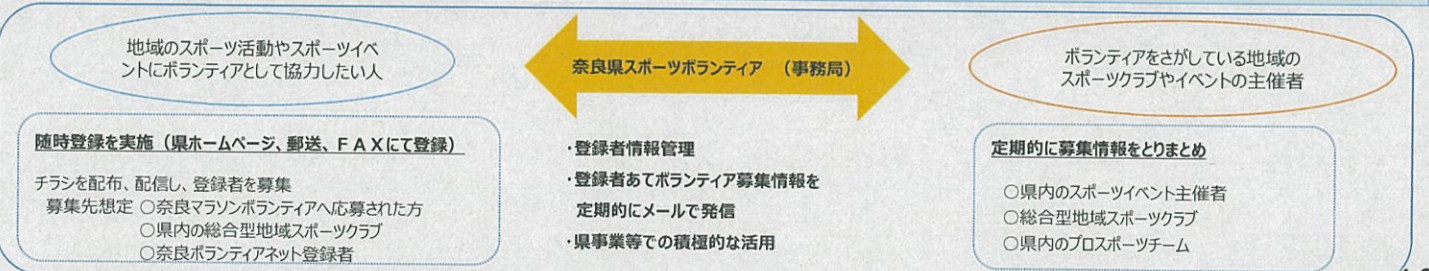
(出典) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

スポーツボランティア活動

- 本県で、1年間にスポーツ・文化・芸術・学術に関連したボランティア活動を行った人は5万2千人、行動者率は4.1% (全国3.5%) (H23年社会生活基本調査)
- 奈良マラソン(ランナー17,000人)のボランティア参加人数(H27実績)は4,383名 開催ごとの応募で、組織化はされていない。
- 全国で、スポーツボランティアの登録制度があるのは、京都府・大阪府・和歌山県等、13府県 (2013「スポーツ振興に関する全自治体調査」笹川スポーツ財団)

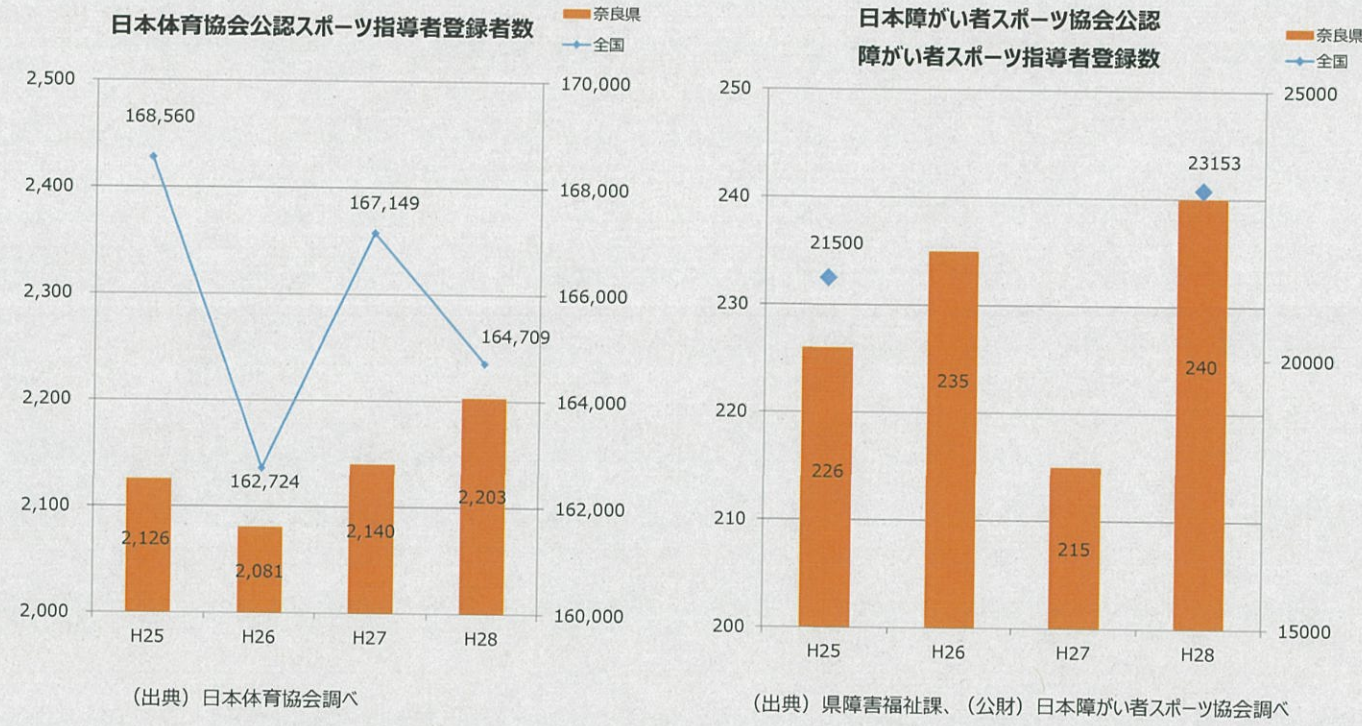


スポーツボランティアとしてスポーツを「支える」人材を育成し、活躍できる仕組みづくりの構築を目指し、奈良県スポーツボランティア制度を創設(平成28年10月～) 現在62名が登録(平成29年3月15日現在)



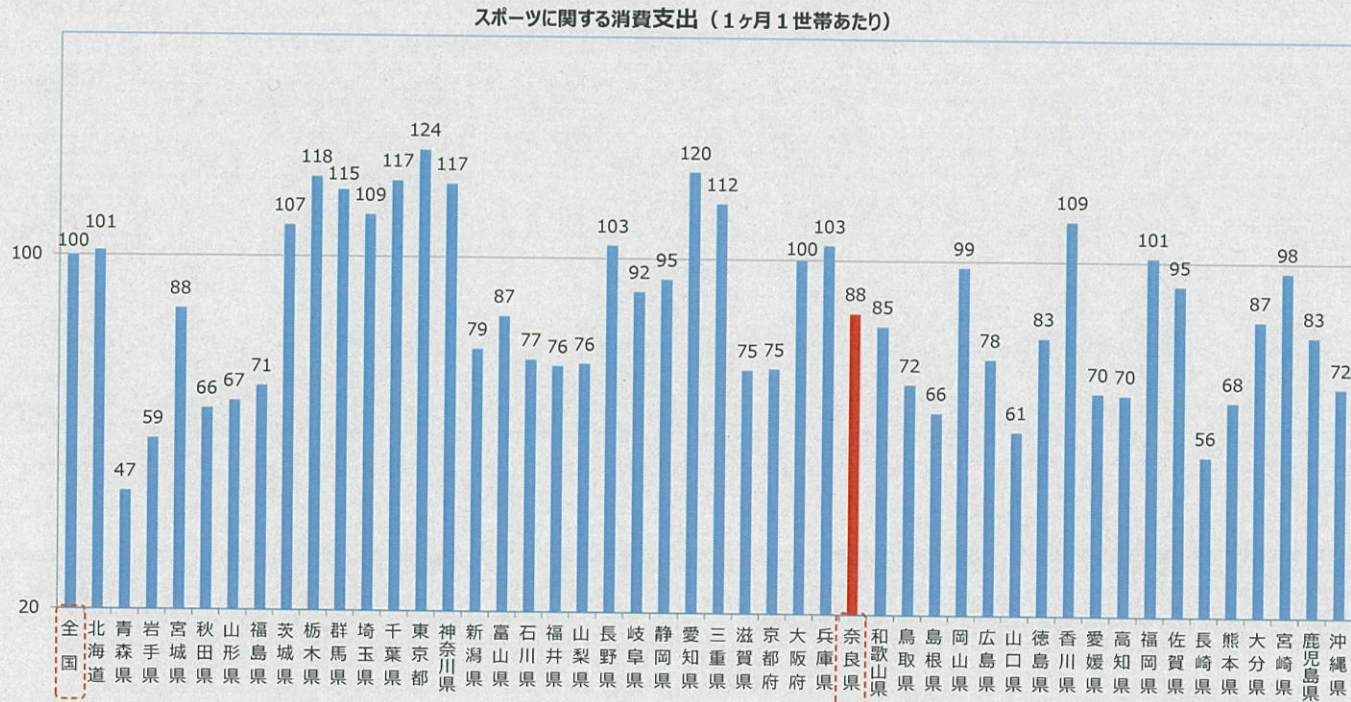
スポーツ指導者登録数等

- 日本体育協会公認スポーツ指導者登録者数は、全国では減少傾向にあるが、奈良県では増加している。
- 日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者登録数は、全国の傾向と同じく、奈良県では増加している。



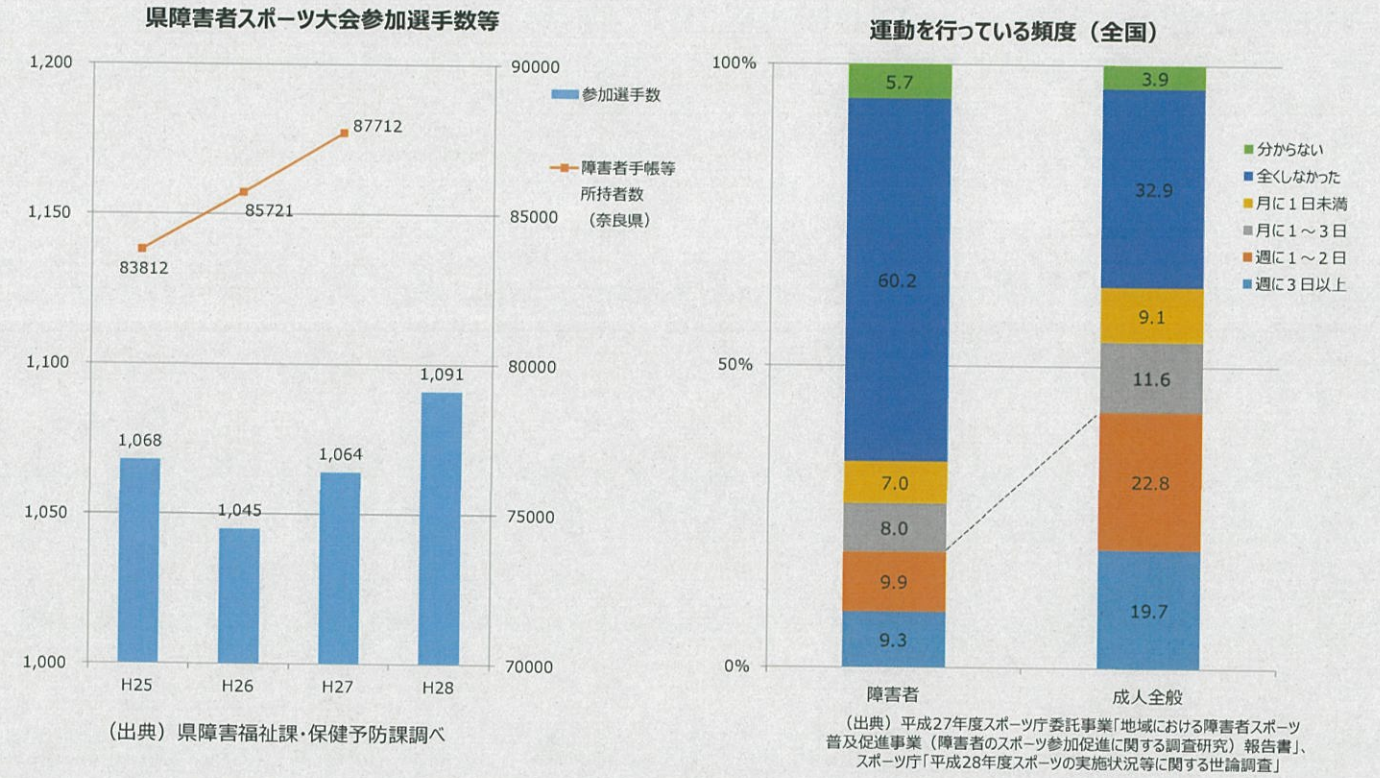
スポーツに関する消費支出の状況

- スポーツに関する消費支出は、全国 2 位となっており、全国平均よりも低くなっている。



障害者スポーツの現状

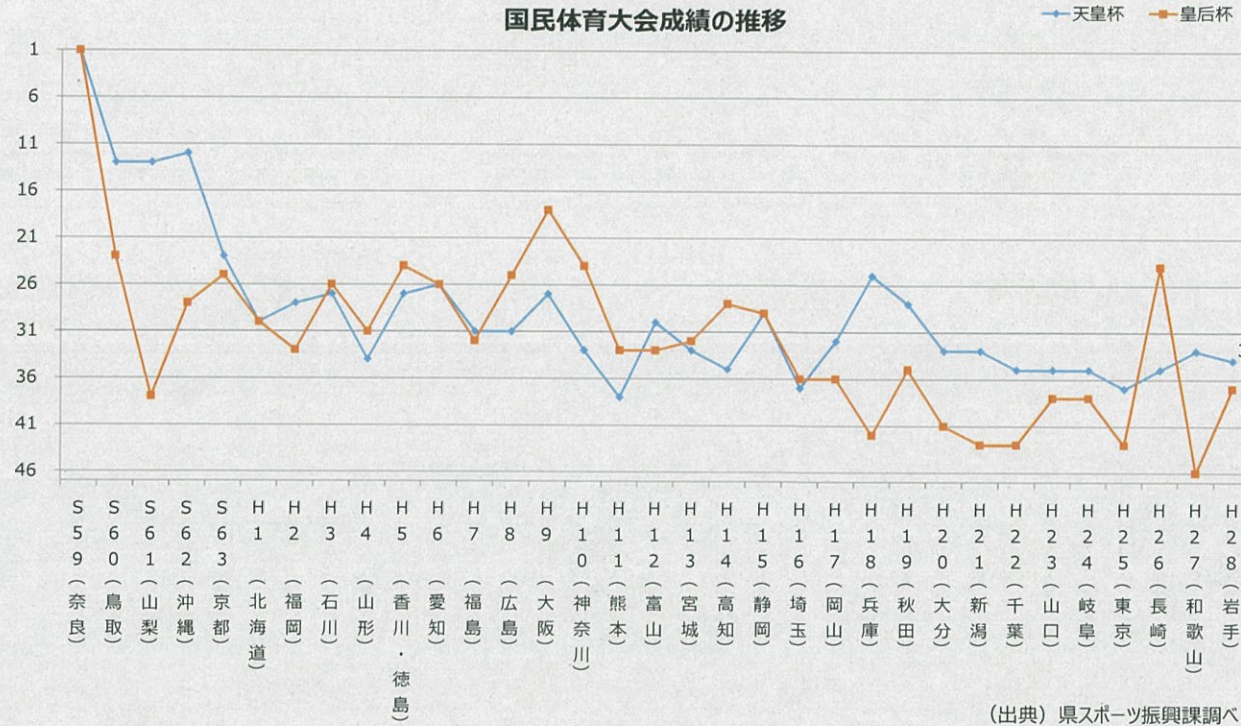
- 障害者手帳等所持者数は増加しており、奈良県障害者スポーツ大会参加選手数も増加傾向にある。
- 国の調査によると、障害者が運動を行っている頻度は成人全般に比べて低くなっている。



本県ゆかりのトップアスリート (リオオリンピック・パラリンピック出場選手)

オリンピック	氏名	ふりがな	年齢	競技	奈良県ゆかり
	大野 将平	おおの しょうへい	24歳	柔道男子73kg級	天理大大学院在学中
	高橋 礼華	たかはし あやか	26歳	バドミントン女子ダブルス	橿原市出身
	松友 美佐紀	まつとも みさき	24歳		徳島県徳島市出身
	伊藤 舞	いとう まい	32歳	女子マラソン	奈良市出身
	北島 隆三	きたじま りゅうぞう	30歳	総合馬術	葛城市出身
	栲井 俊樹	ますい としき	46歳	障害馬術	広陵町出身
	持田 早智	もちだ さち	17歳	競泳女子800mリレー	奈良市出身
	森坂 嵐	もりさか あらし	20歳	ボクシング男子バンタム56kg級	奈良朱雀高校卒
	柴田 あかね	しばた あかね	28歳	女子ホッケー	天理大学卒
	小野 真由美	おの まゆみ	32歳		
	西村 綾加	にしむら あやか	27歳		
	湯田 葉月	ゆだ はづき	27歳		
パラリンピック	氏名	ふりがな	年齢	競技	奈良県ゆかり
	正木 健人	まさき けん	29歳	柔道男子100kg超級	天理市在住
	西崎 哲男	にしざき てつお	39歳	パワーリフティング男子54kg級	天川村出身

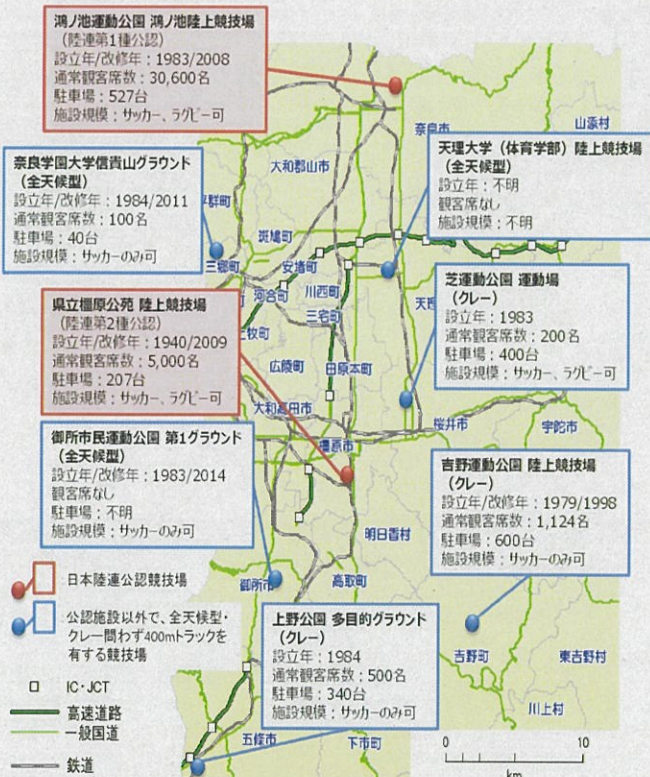
- 昭和59年に奈良県で「わかさ国体」を開催、天皇杯・皇后杯を獲得。
- 近年総合成績は30位台で推移しており、昨年の岩手国体では、総合34位となっている。



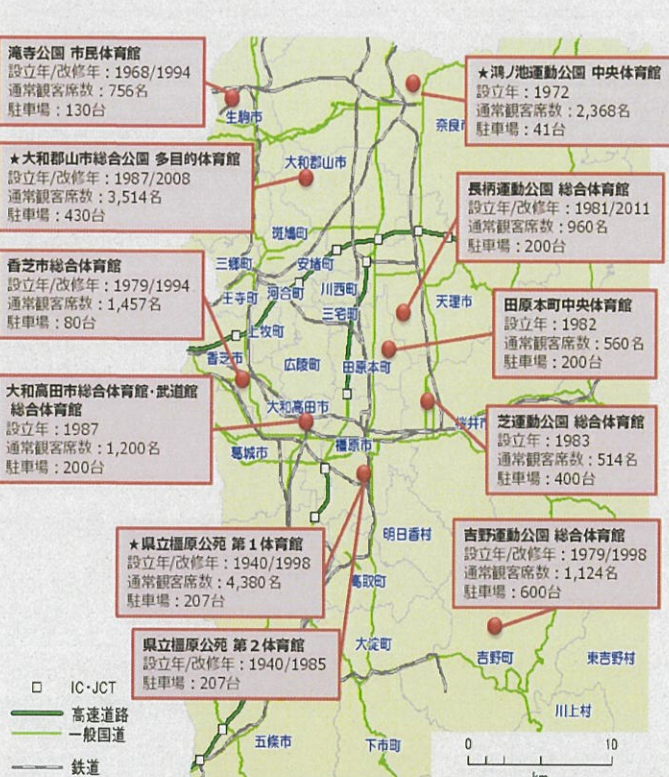
県内の主要運動施設について

- 日本陸連公認の競技場は鴻ノ池（第1種）、橿原（第2種）の2箇所のみで、県内における公式大会も当該2箇所のみで行っている。
- 県内の主要体育館は、ジェイテクトアリーナ奈良（橿原公苑第1体育館）、鴻ノ池を中心に、稼働率が全般的に高い状況となっている。
- 体育館については施設あたりの競技可能面積が十分でなく、近畿大会規模等の大会を開催する際は、複数体育館での分散開催を行っている。

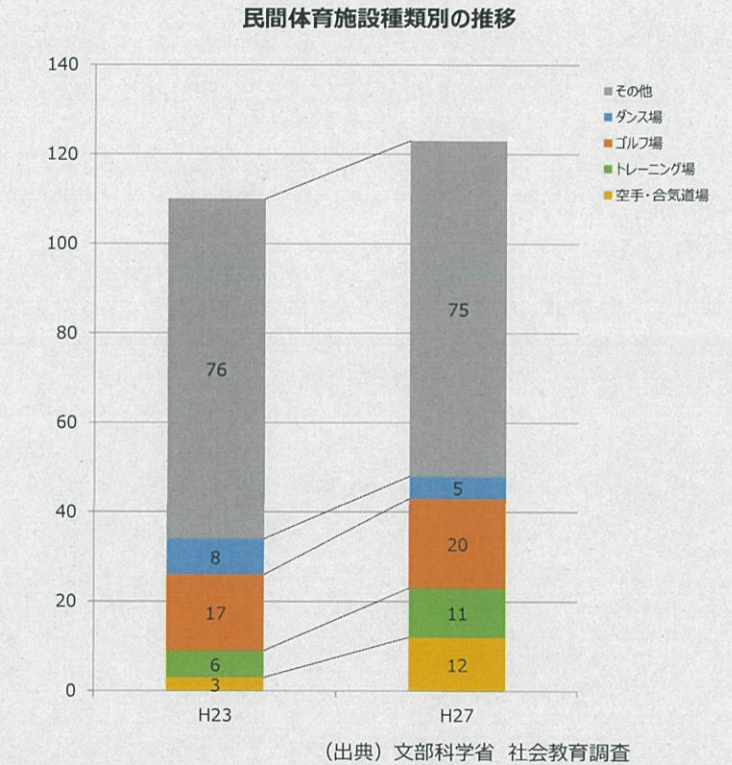
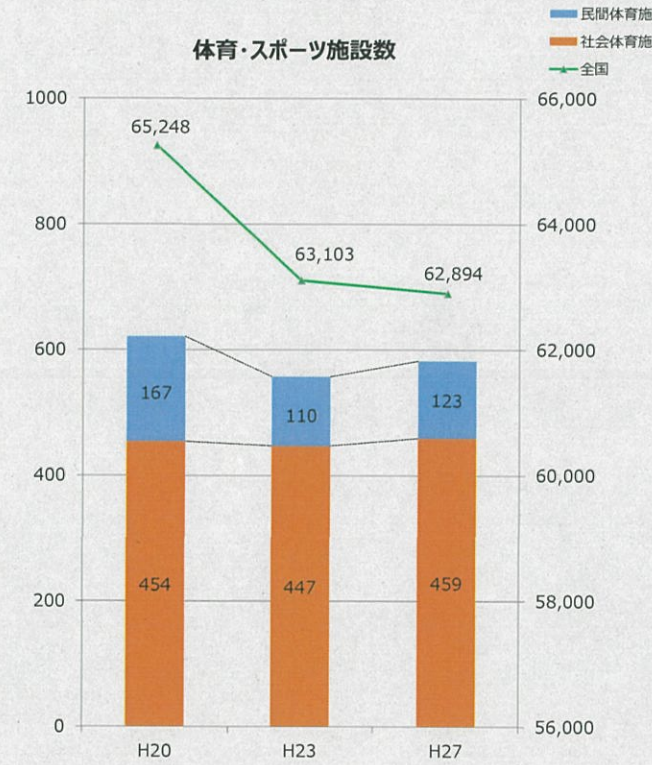
1 陸上競技場



2 体育館



- 全国の体育・スポーツ施設は減少しているが、奈良県は社会体育施設・民間体育施設ともに増加している。
- 民間体育施設では、空手・合気道場、トレーニング場、ゴルフ場が増加しており、ダンス場は減少している。



県内の主要運動施設について

- 野球場については、高校野球の奈良県予選や社会人野球の公式戦等の多くが、佐藤薬品スタジアム（橿原公苑野球場）で開催されている状況。軟式野球については、鴻ノ池や大和郡山が主要な会場となっている。
- テニスコートについては、橿原公苑明日香庭球場のコート数が28面と突出して多く、インターハイ等の全国大会についても開催が可能となっている。その他主要な大会については、県立まほろば健康パークや鴻ノ池のテニスコートが利用されている。

3 野球場



4 テニスコート

